

第1期 事業報告

自 2021年4月1日

至 2021年6月30日

I. 事業の概要

2021年4月～2021年6月までの第1期においては、一般社団法人として関連法案及び定款・会則に遵守した協議会の運営に努めるとともに、本法人の前身であるリサーチ・アドミニストレーター協議会が2020年3月24日の総会で定めた2021年度活動計画の方針に沿った各種事業を概ね計画通り実施した。また、円滑な協議会運営を行うために最低限必要となる規程の整備を行った。

計画していた事業については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、当初の予定から変更し完全オンライン開催になったものの、INORMS 2021の開催、新任研修の実施という二つの事業を実施したほか、第2期以降に開始される年次大会開催に向けた準備、さらには法人化に合わせたwebサイトの全面改修などに取り組み、リサーチ・アドミニストレーション協議会（RA協議会）を広く内外にアピールするための活動を進めた。

各事業の活動概要は次の通りである。

1 活動促進事業

年次大会専門委員会を中心に第7回年次大会の開催に向けた取り組みを進めた。年次大会については大会への参加者の増加に伴い、大会を開催するホスト校のURAや関係者が大会の準備と当日の運営に多くの時間を取られ、大会のセッションに参加できないなど課題が指摘されていた。また、第5回大会までは、参加者の自主性を尊重して、セッションの企画内容や担当件数に特段の条件を設けていなかったことから、類似のセッションが開催されたり、セッションにおける情報提供や議論が十分ではない場合があるなど、参加者に提供するサービスの質の観点から改善すべきといった指摘が多数寄せられていた。これらを踏まえ、第6回年次大会から始めた次の改革をさらに進めることとした。

- 安定的で継続的な年次大会とするため、年次大会開催担当機関の負担を可能な限り軽減し、開催担当機関の関係者（URA等）が参加可能となる仕組みを構築すること
- 年次大会専門委員会の企画機能を強化し、年次大会のコンテンツの多様性や質の向上を進め、会員にとってより有益な情報と討議の場を提供すること

また、将来構想検討会において、担当委員会が未だない新たな取り組み等について検討した。具体的には、次の事項について可能性を含め検討した。一部は専門委員会等の取り組みとして実施に向けた具体的な検討に進む見通しである。

- 年次大会の関係省庁セッション、執行部セッションの内容・登壇者等について
- トピックフォーラム（仮称）について
- 委員会の体制・委員の公募など、今後の委員会活動のあり方について
- 事務局機能について
- 情報発信と経営戦略に直結する広報のあり方について

2 人材育成事業

スキルプログラム専門委員会を中心に、新任研修、年次大会における教育セッションについて実施の具体的な検討を進め、新任研修を完全オンラインで実施したほか、新たな取り組みとして URA 業務経験者を対象としたテーマ別勉強会、大学執行部（研究担当理事・副学長クラス）を対象としたフォーラムの開催について検討し、第 2 期以降に実施、具体的な検討をそれぞれ行う予定である。

3 情報発信・普及啓発事業

情報発信専門委員会を中心に、会員だけではなく、広く一般の方にも閲覧していただき、URA や RA 協議会の活動を周知することを目的に、全面的な web サイトリニューアルを 9 月（年次大会までには）に実施すべく、各方面の協力を得て、構成、コンテンツについて検討を進めた。

ジャーナルについては第 2 期以降に検討を開始する予定である。

4 連携推進事業

国際専門委員会を中心に、当初 2020 年に開催予定であった INORMS2021 世界大会の開催を主催した。COVID-19 の影響で完全オンライン（バーチャル）での開催となったものの、世界各国から研究マネジメント・研究支援に関わる参加者が集まり盛会のうちに終了した。第 2 期以降は、次回の 2023 年世界大会まで大会ホスト国が担う INORMS Council の Secretariate 機能（Beyond INORMS 2021 と略称）を担うなどの予定である。

5 特別事業

特になし。

II. 会員状況 2021 年 6 月 30 日現在（括弧内は、2021 年 4 月 1 日時点の数値）

組織会員数：29 機関（29 機関）*理事会での承認日に基づく数

組織内個人会員数：395 名（367 名）

組織外個人会員数：210 名（185 名）

特別会員数：1 名（1 名）

賛助会員数：3 機関（3 機関）

III. 会議開催状況

1 臨時社員総会

第1期臨時社員総会 2021年6月28日 オンライン開催

第1号議案 第2期事業計画書（案）について

第2号議案 第2期事業予算書（案）について

2 理事会

第1回 2021年4月23日 オンライン開催

議案第1号 定款・会則について

議案第2号 副会長の選定について

議案第3号 特別会員の入会について

議案第4号 代議員の選任について

議案第5号 事務局長の任命について

議案第6号 専門委員会委員長の選任について

議案第7号 公認会計士との顧問契約について

議案第8号 RA協議会の今後の活動計画について

議案第9号 RA協議会の今後の課題について

第2回 2021年6月16日 オンライン開催

議案第1号 副会長の所掌について

議案第2号 運営体制について

議案第3号 規程について

議案第4号 第2期事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

議題第5号 法人クレジットカードの作成について

IV. 主な活動実績

1 活動促進事業

(1) 年次大会専門委員会の開催

●セッション実行委員 説明会

・目的：第7回年次大会の企画内容を説明し、セッション実行委員の募集を開始する。

（注）第6回年次大会における実行委員とセッション担当者の役割を1本化

・日時：4月6日 16:00～17:00

・方法：オンライン

・参加者：RA協議会の会員

・議題：

- ① RA 協議会第 7 回年次大会の概要
- ② セッション実行委員の位置づけと役割
- ③ セッション実行委員への応募条件と方法
- ④ セッションの区分と候補テーマ
- ⑤ 今後の予定

●第 1 回セッション実行委員会

・目 的：第 7 回年次大会の概要，セッション実行委員の位置づけと役割，大会の開催方法に関する検討状況などを説明，共有化した上で，会員セッションの開催に向けた具体的な項目（プログラム，スケジュール，予算，オンライン配信ツールなど）を確認する。

・日 時： 5 月 21 日 16:00～17:30

・方 法：オンライン

・参加者：セッション実行委員会委員及び専門委員会委員

・議 題：

- ①第 7 回年次大会の概要及びセッション実行委員の位置づけと役割
- ②第 7 回年次大会の開催方法に関する検討状況の共有化
- ③会員セッションの開催に関する説明と確認
 - 3-1) プログラム（コマ割り）（案）の説明
 - 3-2) スケジュールの確認
 - 3-3) 予算に関する説明
 - 3-4) オンライン配信ツール及びリハーサルの内容
- ④Q & A

●第 3 回専門委員会

・目 的：第 7 回年次大会の開催方法を検討するとともに，各セッションの準備状況を確認し，大会の開催に向けた準備を進める。

・日 時： 5 月 18 日 16:00～17:30

・方 法：オンライン

・議 題：

- ①つくば国際会議場との調整状況の共有化，及び開催方法の検討
- ②各セッションの状況確認及び対応
 - 2-1) セッション実行委員の追加募集（5 月 14 日締め切り）の状況確認
 - 2-2) 参加者ネットワーキングセッションの応募状況及び課題の検討
 - 2-3) 執行部セッション，関係省庁セッションの準備状況の共有化
 - 2-4) 賛助会員，非営利団体などに関する課題の検討
- ③ ①と②の状況を踏まえたプログラム（コマ割り）の検討

(2) 新規会員の開拓

組織会員及び個人会員の開拓を進め、2021年4月1日以降、組織会員1機関、組織外個人会員25名の新規加入を受け付けた。

(3) 関係規程の整備

法人化後、RA協議会の運営において最低限必要となる次の規程を定めた。

○総務系

- 個人情報保護規程
- 特定個人情報取扱規程
- プライバシーポリシー
- 特定個人情報等の適切な取扱いに関する基本方針

○財務系

- 経理規程
- 謝金規程
- 旅費規程
- 寄附金取扱規程
- クレジットカード取扱規程

○事業系

- 主催・共催・協賛・後援に関する取扱規程

(4) 協議会活動の多角化に向けた検討

1) 将来構想検討会の開催

開催日時：

4月14日(水) 17:15～19:15, 5月20日(木) 16:30～18:40, 6月7日(月) 12:00～13:30

2) テーマ別打合わせ

個別具体の案件について、関連する担当者・有識者などを中心に数名で打合せを行なった。

- 6月9日(水) RA協議会の運営体制について
- 6月14日(月) 年次大会特別セッションの企画方針等について
- 6月21日(月) RA協議会年次大会 省庁&執行部セッション企画

2 人材育成事業

(1) スキルプログラム専門委員会の開催

いずれもオンラインで実施した。

4月23日 新任研修2021の公募と各種調整、年次大会教育セッションの検討、テーマ別勉強会の検討

5月31日 年次大会教育セッションの準備、登壇者の決定、テーマ別勉強会の試行協力者の募集

6月28日 年次大会教育セッションの内容調整、トピックフォーラムの調整

(2) 新任研修2021

募集期間：2021年4月1日～6月1日

申込者数：74名 内54名の受講を決定し、残り20名はオプション研修2021(9月13日)で別途調整することとした。

●新任研修実施概要

6月7日 15:00～18:00

研修ガイダンス、URA概論(取組、業務内容、最新動向、Q&A、確認問題等)

講師：大阪工業大学 研究支援・社会連携センター URA 大屋知子氏

6月9日 15:00～17:00

先輩URA紹介(業務紹介、経験談、苦労話、Q&A、確認問題等)

講師：東北大学 特任准教授・上席URA 房木ノエミ氏、文系URA 行場絵里奈氏

6月11日 15:00～18:00

グループワーク(課題設定、グループ討論、発表、確認問題等)

講師：福井大学 研究企画・管理部 URA 徳田加奈氏

6月15日 15:00～18:00 6月7日「URA概論」の録画再放送、確認問題

6月17日 10:00～12:00 6月9日「先輩URA紹介」の録画再放送、確認問題

6月18日 15:00～18:00 修了証授与式、オンライン情報交換会(グループワーク)

54名の内、1名陪席、1名途中欠席となり、結果として52名に修了証書を発行した。

事後アンケートの結果も良好であり、第2期の新任研修についても研修内容を拡充する方向で検討している。

(3) 第7回年次大会(つくば大会)教育2セッションに関する検討

第7回年次大会における教育セッションについて検討し、次の2セッションを開催することとした。

- 9月14日 15:50～17:20 プレアワード分野 根本靖久氏(東北大学)、垣田満氏(徳島大学)

- 9月15日 9:00～10:30 情報収集・情報活用プレアワード分野 王鴻香氏（長崎大学），玉村好司氏（東京医科歯科大学），丸山浩平氏（早稲田大学），川人よし恵氏（大阪大学）（オンライン開催）

(4) テーマ別勉強会支援の企画

テーマ勉強会について検討し，2021年度は3件を上限として試行を行うこととした。試行の提案を，6月30日を締切として募集した結果，5件の応募があった。今後は，審査を行い，採択提案を決定する予定である。

(5) トピックフォーラムに関する企画

大学執行部（研究担当理事・副学長クラス）を対象としたフォーラムの開催について検討し，2022年3月上旬に金沢で開催する方向性となった。

3 情報発信・普及啓発事業

(1) Web サイトリニューアル関係

RA協議会のwebサイトリニューアルを進めた。このリニューアルは，RA協議会の一般社団法人化と，「質保証制度」の始動に呼応するものであり，一般の方にも閲覧していただくというものである。一般の方としては，“潜在的URA”，“大学・研究機関等執行部”，“企業の人々”，“研究者”等を想定している。

本改修を委託するwebサイト作成業者としてカイエ社（大阪市）を新たに選定した（<https://cahier.design/>）。

また，第2期以降に，会員向けサイトの充実について検討する予定である。

(2) その他

事務局主催，本委員会後援という形で，会員のネットワーキングの促進を目的とした企画を立ち上げた。まずは，運営ボランティアの募集を行っている。

また，ジャーナルの検討について第2期以降に具体的な検討を進める予定である。

4 連携推進事業

(1) INORMS 2021 世界大会の開催

第8回INORMS世界大会をRA協議会が主催した。当初は広島国際会議場において対面開催（2020年5月）の予定であったが，コロナ禍の影響を受け，2021年5月への延期となり，最終的には完全バーチャル開催となった。

また，INORMS Council Meeting（5月24日）での『広島宣言』文書への山崎会長による最終署名ののち，翌日の開会式において『広島宣言』を公式に発表した。

- ・開催期間：5月24日～27日（ただし、オンラインでのオンデマンド配信は6月30日まで継続）
- ・セッション数：26（2つの基調講演を含む）
- ・ポスター数：61
基調講演以外は全て事前録画をバーチャル会議のプラットフォーム上で配信
- ・展示団体数：9
- ・登録者数：合計509名（187名の無料招待者を含む）。日本からの登録は、198名で、アジアからの登録数が50%超であった。
- ・財務状況：収支が未確定であるが、200万円程度の黒字見込み（6月30日現在）
参加登録関連収入：約2,000万円強、スポンサー関連収入：約900万円の予定である。

INORMS 2021 世界大会終了後の予定

7月2日にプログラム／実行委員、RA協議会執行部による振り返りミーティングの開催。

- INORMS Awards for Excellence in Research Management Leadership 2021 の発表（11名）と、各受賞者への賞状発送
- Poster Awards の決定と、各受賞者への賞状発送

(2) Beyond INORMS 2021 の運営について

2年に1回開催されるINORMSの世界大会ホスト国は、次の大会開催までINORMSの議長国を務めるのが定例となっている。2021広島大会のClosing Ceremony（5月27日から配信）において、2023年6月に予定されている南アフリカ大会まで、日本がINORMS Secretariatを担うことになり、具体的にそれを担う4名のチーム（高橋真木子氏（議長）、三宅雅人氏、ハリス ケイト氏、三代川典史氏で構成）が紹介された。

6月30日にINORMS Secretariatを過去3年間取り仕切っていた英国ARMA事務局長のHamish Macandrew氏と以下の引継ぎに関するバーチャルミーティングを開催した。

- INORMS Council Meeting の日程調整と運営
- INORMS Council や INORMS Working Group の情報を保存してあるDropboxの管理について
- ウェブ、SNS、コンタクト用Gmailに関する管理、アクセス情報
- Working Group 運営
- INORMS 2025 主催団体の公募

今後の予定

次回INORMS Council Meeting（8月16日に開催、Zoomによるバーチャル会議）
議事

- INORMS 2021 開催報告, INORMS 2023 の最新情報
- INORMS Working Group からの報告
- INORMS Website と INORMS Operating Principles の更新について
- INORMS 2025 主催団体の公募について

5 特別事業

特になし

V. 第1期役員及び代議員の構成

役員

役職名	氏名	備考
会長	山崎 光悦	
副会長	高橋 真木子	総務担当
副会長	佐治 英郎	財務担当・スキルプログラム専門委員会委員長
副会長	森倉 晋	事業担当・年次大会専門委員会委員長
理事	三代川 典史	国際専門委員会委員長
理事	柴田 徹	
理事	古宮 行淳	情報発信専門委員会委員長
理事	三宅 雅人	
監事	池田 雅夫	

代議員

池田 雅夫	五味田 將	玉村 好司	三宅 雅人
石田 貴美子	古宮 行淳	寺本 時靖	三代川 典史
宇根山 絵美	佐治 英郎	徳田 加奈	村上 壽枝
大小原 努	柴田 徹	西村 薫	森倉 晋
岡野 恵子	嶋田 庸嗣	根本 靖久	矢吹 命大
垣田 満	杉原 伸宏	野呂瀬 寿	山崎 光悦
加藤 英之	杉山 梨恵	藤松 佳晃	山本 外茂男
川人 よし恵	関 二郎	本田 一貴	和田 隆志
岸本 遼	高橋 真木子	宮川 明	王 鴻香
北村 浩三			

以上